

・全ての面において言えることですが、できると思われることでも、気持ちが向かなかつたり、途中でふざけてしまうことが多々あります。自分の興味のあることに対しては、力を発揮出来ますので、繰り返し経験を積むことが大切であり、根気強い教員の支援も必要と感じています。

・先日の終了式のエピソードですが、帰りの会の前に連絡ノートが入った自分のファイル袋を教卓から持っていき、自分のバックに入れようとした。このようなことは、今まで促しても一度もやらなかったことですが、声掛けもしないのにできました。このようなところに、色々なことを獲得していく可能性を感じます。

交流級との活動で、全体の中で一緒に立って朝会に参加したり、みんなと一緒に生活して(受容が良い集団)きたので、友達をさがして進んでいったり、と楽しい目的を持って生活できた。(集団の中で活動を共にするスキルをみにつけていった。内容を理解する目的ではなく、一緒に行動を共にする喜びを味わえた)→交流級の友達とのふれあいは大ですが、学校の指導体制に大きく左右されるのと、本人の受け入れが良かったからここまで色々な行事や活動に参加できた。保護者の強い願いが、伝わった結果でもある。(健康教育、豊かなふれあい、関わり合い、交流の受容度が高い。各担任の受容度が高い)

是非本児の教育に対する助言や学校生活を豊かにする方向など共に学びたいです。何かの折りには御連絡下さい。(御連絡したい所です)

アンジェルマン症候群の様々な症状を読みましたが、本児童はずいぶん落ち着いていると思います。人との関係が豊かで学習に対してもとても集中力がある。そして好きなことは自分でなんとかしようとする生活する力ももっています。大人の関わり次第でとても成長するお子さんだと思います。お母さんも本児についてとても理解を示し、大変勉強なさっています。これからも本児の成長、楽しみにしております。
※思いつくまま(担任間で話し合いはしましたが)急いで書きましたので、乱文、乱筆で失礼致します。読み辛くすいません。なお、大変遅くなり申し訳ありませんでした。

苦手なタイプの人がいる(テンションが下がり、指導に素直に従う)

- ・母親と同年代の女性
- ・過去にきつく叱られたことのある人
- ・無表情を作れる人

- ・アンジェルマン症候群調査について知ったのは、対象生徒を受け持ってからでした。1年間の短い時間でしたが、人を元気づける力を持っていると感じました。疲れて学校についた時でも、対象生徒の顔を見ると頑張るぞと言った意識が湧いて来てしまうのでした。私はいつも癒しのRさんと宣伝しています。
- ・記入に当たっては、個別の計画の中に書かれていることを中心に記入しました。
- ・何を書いて居るんだと思われることばかりと思いますが、ご容赦下さい。

中学部に入学し、この1年間で成長した点がいくつかありますが、その中でも「がまん」が徐々にできるようになったことが上げられると思います。
入学当初は教員との人間関係ができるまで、授業中の態度・給食時の要求の抑制など我慢することができず、教室内外の他害、物を壊す・食べ散らかし等が目につきました。
夏休みを過ぎたあたりから、徐々に教員との関係がとれてきて、教員の指示を理解することが出来、実行する様になってきました。
2月の社会見学では満員の地下鉄に乗って葛西臨海水族館へ行ってきました。移動手段の地下鉄内は満員でしたが、乗り物好きな恭介君とはいえ窮屈な車内でも大きな声をだしたり、周囲の人に手を出したりすることなく40分の道のりを過ごすことができました。
先日の本校卒業式では1時間半という長い時間にも関わらず、席を立ったり周囲の人に手や足を出したりすることもなく、静かに過ごすことができました。その上、担任が席を立たなければならなかった時に「おふざけしないで待っててね。」と声かけひとつで教員に戻るまでの3分間、自席で待つことも出来る様になりました。これは、1年前の恭介君の入学式の時の事を考えれば目覚ましい成長となります。給食も同様に、入学当初は食器を使うのも待てずに好きな物から、時には手掴みで食べてしまう様なこともありましたが今では着席して手を押さえなくてもいただきますまで待とうね」の声かけで、待つことが出来る様になりました。
様々な場面で「がまん」が少しずつできるようになりました。

まわりの雰囲気敏感である。担任が他の児童をしかつたり、母親が弟をしかつたりすると、しかるのをやめさせようと、担任や母親に抗議することが多い。

基本的にはアンジェルマン症候群の特徴がよく表出する傾向がある。明るく、人との関わりを好む可愛らしい生徒である。

兄弟も多く、よく本児のことを理解し、おしみなく愛情をそそぐ両親とのすばらしい環境にめぐまれ、社会性をのびし感受性豊かにのびのびと成長してきた。単に症状ということだけでなく、まわりをつつみこむ明るさ、積極性は本児の個性であり、それを大きくつつみ育ててこられた御両親の愛情によるものと思っています。

項目によっては、重複する回答になったところもあります。また、題意からずれてしまっている回答もあるかと思えます。お役に立たないものばかりと思いますが、一応報告させていただきます。諸事情によりおそくなりましたこととお詫び申し上げます。

本人はみんなに愛されて、学級になくはならない存在として楽しく生活できています。本人の行動や笑顔に周囲の誰もが元気をいただいていることに感謝します。担当職員一同、子どもたちのために、更に力を尽くして参りたいと思います。今後ともご指導をよろしくお願い致します。

6年以上前に担任した生徒なので、添付の実践まとめの記憶、記録以上に思い起こすことが難しい。恐縮ですが、添付実践が参考になれば幸いです。

・この学校の小学部は学年別のクラス分けでなく、発達段階を知覚する子ども集団でクラス分けをしている為、本人にとってとても安心できる場所なのではないかと思う。友達同士の関わり合いの中で、大人とのやり取りだけでなく、子供同士(大好きな友達)の中で育ち合っていくことを実感している。
・AS児特有の行動(問題とされる行動)があったとしても、他の子どもたちとの関わり合いを断ってしまえば、教育(学校教育)の意味がないと思う。本人に限らず、どの子どもひとり一人大切な子どもたち。そして一人の人間(人格)として認められ、生活していく権利がある。

・絵は○が描けるようになっていきます。
・名前が書ける様になって欲しいと思い、一年間練習してきました。文字に直線(た)や曲線(ら)のようにシールをはり、始点から終点へはほぼ線がひけるようになっていきます。ら、な、つは「カーブして」「くるっとまわって」等の助言で少しずつできるようにはなてちますが・・・ゆっくりおちついて一人で書く所までは至っていません。

いろいろなスキルを身につけて成長できており、今後もさらなる成長を望んでいますが、その為にハードルとなっているのが、教師、友達に対する他傷(ツバ吐き、髪をひっぱるも含む)です。送迎に来られた他児の保護者に対しては、「あら○ちゃん」と対応してもらえるため、余計に興奮し叩く力も強くなります。代替の行為(やさしく、トントンとたたく)を伝えてもなかなか興奮には勝てないことが多いです。本児の興味・関心のもてるものを用い、強化子を上手く利用してさらに本児が自分の気持ちを伝え、周囲が理解出来るようにすることで適切なこみゆにがとれるようになってもらいたいと思います。そのために良い情報をご提供いただくと幸いです。期限を過ぎた鉛筆での乱文乱筆どうかご容赦下さいませよう重ねてお詫び申し上げます。

・私共一般の教師にとっては児童は研究対象でもありませんし、ましてや患者でもありませんので質問8の本症患者という呼び方には少し違和感を感じました。
・質問が教科領域と自立活動さらにそれ以外の質問の部分で重複すると思われるところが何カ所かあって、どちらに書いて良いのか迷いました。
・尚、本児の学年では教科領域の学習方法はとっておらず、合科して行っております。また、自立活動に関しても全ての項目についての、特設の自立活動の時間でおこなうには時間的な制限があり、(どの学校でもそうだと思います)学校生活全般において行っております。お知りおき下さい。
・ご理解頂きにくい所等あるかとは思いますが、お許し下さい。本アンケートがアンジェルマン症候群調査の子と親に幸福をもたらしますよう祈っております。

大変人を見ている。そしてユーモアが感じられる。頑張れることを知っている人の前ではしゃっきりとして反応も早いですが、ソフトにかまってくれる人の前では「私は出来ません、わかりません」という風を装って(?)ポーと一人の世界に入っていることがある。そこに前者の人が「頑張ってる～?」と入ってくるとハツとした表情になる。「立つ」「歩く」ことに自身を持ち始めてから車いすへの固執がやわらぎ自発的に立ち上がろうと手を伸ばしたり、歩き出したりすることが増え、視線も常に前向きで、周囲の人とのアイコンタクトが増え、表情が豊かになった。とても賢くユーモアのあるお嬢さんだと思っています。

このアンケート記入しづらい面がありましたので、保護者の方の了解を得た上で、本年度2、3学期のいわゆる通知票を資料としておくらせてもらいます。この資料から必要なことを読み取っていただければと思います。取扱を含めてよろしくお願い致します。

- ・歩行に関しては他の本障害を持つ児童に比べ、良く歩いたり、走ったりできると思われる。
- ・かばんを持って一人で歩く取り組みも行ったが、落とすことなく持てるようになった。
- ・色々な事が、毎日の繰り返しで見通しが持て、積み重ねていけるとと思われる。

明るく、活動的で問題行動などは無い。教師の言葉もよく理解し、“水がのみたい”“トイレに行きたい”など表情豊かに様々なことを伝えることができる。
周囲からの刺激が気になり(興味)、物事になかなか集中出来ないが、刺激を減らす環境設定などにより落ち着いて学習に取り組むことができる。人との関わりが大好きで社交的。

高2、高3を2年間担任をしましたが、アンジェルマンについてダウン症や自閉症のような意識の仕方を持って指導していなかったような気がします。知識としては持っていましたが様々な問題はYさんの個性としてとらえていました。それほどに成長したYさんにはお母さんの努力が大きかったと思います。寒くても暑くても必ず散歩に行く、体重コントロール、家族の一員としてどこにでも連れていく…散歩にんしては続け、自分の子供の障害をしっかり受け止め、今すべきことは何か、将来に向けて何が必要か等、保護者としての気持ちを伝えていただきました。

